

受講生・各回研修終了後の当日アンケート結果（抜粋）

第1回・神奈川

- ・開催日：2018年9月28日（金）
- ・出席者：31名
- ・講演：「女性リーダーに期待すること」 横浜市長 林 文子 氏
- ・講義：「コーポレート・ガバナンス」 青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 教授 北川 哲雄 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体			企業			工業等		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
1) とても良かった	20	65%	8	53%	12	75%			
2) 良かった	11	35%	7	46%	4	25%			
3) 普通									
4) あまり良くなかった									
5) 良くなかった									

2. 講義の理解度について

	全体			企業			工業等		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
1) とても良く理解できた	6	19%	3	20%	3	19%			
2) 理解できた	21	68%	10	67%	11	69%			
3) どちらともいえない	4	13%	2	13%	2	13%			
4) あまり理解できなかった									
5) 理解できなかった									

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍に対する熱い思いが伝わった。愛情をこめて率直に話してくださり、かつ、経験に基づいた具体的なアドバイスが大変参考になった。 ・女性ならではの視点で、自身の体験をもとに話をしてくださるので、聞いていて腹落ちしやすい。また、最近の世界的な女性活躍の動きも話されていたので、関心を持って聞くことが出来た。 ・若いころの苦労話や人への愛情があれば伝わる、といった点がとても印象に残った。活躍している女性の話や姿を見ることで、非常に元氣になれ、自分ももっと頑張ろうと素直に思えた。女性ならではの強みの話は、明快でわかりやすいポイントばかりで、そういう考え方もあるとすと納得できた。 ・部下への接し方については、本面に応じたコミュニケーション方法等が多くなった。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を踏まえた話は、場面に応じたコミュニケーション方法等の具体的なアドバイスも多数織り込んで頂いて、心に響いた。とても興味深く拝聴できた。 ・熱意と愛情にあふれていて、心に響いた。また、なぜ男女問わず人間性を支持・評価されているのかが分かった気がした。 ・女性としての視点から男性社会を相対化し、そこでさらに、自らの立ち位置を確立し、強い意志を持ちながら活動されている点に圧倒された。女性活躍のために、今は「理念より行動」という言葉にハッとさせられ、勇気ももらった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・部下との向き合い方、女性が管理職に向いている理由を伺って、共感するところ、見習うべきところが沢山あった。考えさせられることばかりである。 ・女性リーダーとしてのマネジメントの極意（人を動かさないと進まない。だからこそ情熱を伝え、感謝の気持ちを忘れないなど）を自身の体験に基づいて話して頂けたので、とても心に響いた。
--	---

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役会のあるべき姿を（たとえ日本企業の現状とは乖離していても）学んでおくべきであると実感した。 ・コーポレート・ガバナンスという言葉自体馴染みがなく、女性役員育成に何の関係があるのかと思っていたが、非常に勉強になった。弊社は非上場・超ドメスティック企業だが、経済全体で必ず影響を及ぼすテーマであり、世界の潮流について、さらに知識を深めたいと感じた。グループワークで考察を深め、他の参加者とお近づきになる一歩にできたのも有効だったと思う。 ・通常業務では知らない内容であり、勉強になった。また教科書的ではなく、直近の海外の動向を含めて、考え方を学ぶことができたのが良かった。 ・普段は営業の仕事をしており、ボードコミティの運営やグローバルスタンダードの実態がよく分かった
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・社外役員の果たすべき役割や重要性、その理由がずしりと伝わってきた。社外役員を目指す場合、こういうことを心がけないといけないのが理解できた。 ・日本の現状の規制・法制度を離れて、あるべき姿を考える良い機会となった。 ・第一線でガバナンスに従事されている経験をもとに、具体的にかつ詳細に様々な企業の現在の状況について、大変分かりやすく講義頂き、ためになった。 ・上場会社を退職して5年経過しているが、その間の上場会社を取り巻く環境が大きく変化していることが驚きであった。グループディスカッションがあったことで、初対面の受講生が話し合う機会を作って頂けて良かった。 ・コーポレート・ガバナンスについて、海外の企業の実例等も踏まえ概観することができ、理解が深まった。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業価値向上を意識した企画。 ・自社のコーポレート・ガバナンスの理解。 ・改訂06C対応を当社でもこれから検討し始めるが、本質的なガバナンスの精神を念頭においた上で議論に臨みたい。 ・取締役の役割の再認識、自社の状況の確認、自分が自社の取締役だったらやるべきことの自己分析。 ・正しい倫理観に基づき判断する。取締役会の役割、経営に関する知識を深める。 ・周囲の方々へ、感謝の気持ちを素直に伝えること。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・部下や自分の周囲の方々に対する感謝の気持ちを忘れたいこと。 ・感謝していることを部下や周囲の方々に伝えること。 ・欧米型の社外役員制度について理解を深めたい。 ・部下とのコミュニケーションにあたっての姿勢についての学びを活かして、リーダーシップ力を発揮したい。 ・接点のあった上場企業や、有名な企業などのガバナンスコードなどの公表情報を確認する。 ・自分の専門性を活かしながら、会社経営に携われるようにしていきたい。

第1回・愛知

- ・開催日：2018年9月25日（火）
- ・出席者：33名
- ・講演：「軸 ～逃げない経営で革新に取り組むわたし～」
日本特殊陶業株式会社 代表取締役会長兼社長 尾堂 真一 氏
- ・講義：「コーポレート・ガバナンス」
青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 教授 北川 哲雄 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体			企業			工業等		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
1) とても良かった	15	45%	6	38%	9	53%			
2) 良かった	16	48%	9	56%	7	41%			
3) 普通	2	6%	1	6%	1	6%			
4) あまり良くなかった									
5) 良くなかった									

2. 講義の理解度について

	全体			企業			工業等		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
1) とても良く理解できた	5	15%	3	19%	2	12%			
2) 理解できた	14	42%	4	25%	10	59%			
3) どちらともいえない	13	39%	8	50%	5	29%			
4) あまり理解できなかった	1	3%	1	6%					
5) 理解できなかった									

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・解がないことを決める覚悟と、選択肢を多く持つ見解の幅をもっていくために、日々起きる物事に対して、思考と実行を重ねていこうと先が見えた。 ・研修には参加したものの、自身の立場では役員は随分先の認識であった。ただし、今からできることやしておくべきこと、自身の強み・弱みを理解しつつ、上を目指し意識することの必要性を学べた。 ・若いときから「外から見る」ことの重要性を確認できた。今後の部下育成に、一つの視点を得ることができた。 ・企業のトップの方の講演を聞かせて頂ける機会となり、良かった。会社への思いや経営の信念が伝わってきた。 ・非同族企業の経営者の話を初めて聞いた。必要な「6つの要素」や「経営の王道企業」など、とても心に残り、背筋が伸びる感じがした。 ・太太のトップの率直な話を聞ける機会はほとんどないので、大変貴重な時間となった。「3つのモットー」などは、これからは是非取り入れてきたいと思った。 ・企業のトップの方と触れ合う機会は仕事上であったが、これほど長い時間、思いを聞くことはなかったもので、とても貴重な体験であった。 ・普段は話を聞くことのできない大企業の代表者の方の話をゆっくり伺うことができ、経営や仕事に対する考え方も聞くことができた。 ・普段聞くことが出来ない経営者の意思決定の考え方を学ぶことが出来た。 ・経営者目線から、経営ビジョン等について、貴重な話を聞くことができた。
工業等	

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・普段、コーポレート・ガバナンスについては考えたことがなく、座学だけでなく、グループ討議で皆さんと議論し、自分なりに考えられたことがとても良かった。今後、コーポレート・ガバナンスの観点からも会社を見て、取り組んでいく必要があると感じた。 ・今まで全く考えたことのないことばかりで、考えてみるきっかけになった。 ・事前の参考テキストの内容を超え、事例を沢山紹介頂き、新しい視野が開けた。 ・当社は執行役員と取締役の兼務が多いため、取締役会の本来の意義など誤解があった。また株主が親会社1社であることから投資家を意識した取組意識も低く、中長期視点での企業価値向上をより意識的に考えなければ、他社と大きく差を広げられると危機感を持った。 ・普段学ぶ機会のない講義で、難しい内容だったが、勉強になった。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでわかった気であった、コーポレート・ガバナンスを改めて勉強することができた。とりわけ、欧州の最先端の動向については、自分の認識不足を確認するともに、やるべきことが多いことを知った。 ・研究に基づいた話はとても説得力があり、大変興味深い講義であった。 ・実際に自分が役員となる会社で実現できるかどうかはまた別だと思いが、最前線を知っておくことは大事なことだと思ふ。 ・日本の企業経営が、海外からの動きで変わらざるをえない状況にあることが、とてもよく分かった。また、どうしても企業に雇われる社外取締役のイメージから脱却できなかつたが、これからの日本企業における社外取締役の求められる役割について、考え方が変わった。 ・コーポレート・ガバナンスの目指すべき方向性を知ることができ、また、グループワークにより、グループのメンバーとの関わりも持つことができた。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンの明確化と発信。言い続けること。 ・参考書籍も含めて、事前&事後学習をしていきたい。 ・交流会で折角の縁で繋がった方々の交流を、さらに深めていきたい。 ・土業の方をはじめ、皆意見を発言するのがとても上手。講師から学んだ「自分の軸」を心の中に持ち、周りと調和しながらの発言を心がけようと思う。 ・社内のガバナンス体制とガバナンス指標の比較を行い、あるべき姿を描きたい。 ・自身の判断軸を確立していくためにも、上司（役員）の判断の軸・考え方まで確認し、参考にする。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事だけでなく、現在所属している各団体での自分の立場を改めて認識しながら、伝統を重んじるだけではなく、新たな取組等、変革できるところへは積極的に意見していきたい。 ・日頃から経営相談に乗っている中小零細企業の経営者にも、今日の講演と講義の内容を伝えていきたいと感じた。 ・取締役会の多様性についての大きな転換期であるので、今後の各企業の動向に注視したい。 ・様々な会社のガバナンスについて、調べてみたい。 ・企業統治論についてもっと勉強し、社外取締役の役割を改めて考えたいと思う。

第1回・関西広域

- ・開催日：2018年9月27日(木)
- ・出席者：36名
- ・講演：「Small But Excellent ～小さな一流企業を目指して～」
アートコーポレーション株式会社 代表取締役社長 寺田 千代乃 氏
- ・講義：「コーポレート・ガバナンス」
青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科 教授 北川 哲雄 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体			企業			工業等		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
1) とても良かった	22	61%	9	53%	13	68%			
2) 良かった	13	36%	7	41%	6	32%			
3) 普通	1	3%	1	6%					
4) あまり良くなかった									
5) 良くなかった									

2. 講義の理解度について

	全体			企業			工業等		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
1) とても良く理解できた	9	25%	3	18%	6	32%			
2) 理解できた	19	53%	10	59%	9	47%			
3) どちらともいえない	6	17%	3	18%	3	16%			
4) あまり理解できなかつた	2	6%	1	6%	1	5%			
5) 理解できなかつた									

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・女性企業家のパイオニアとして活躍されてきた講師の話に、沢山の勇氣と元氣を頂いた。自分ではできずと思うこと、逃げないことというワードは心に響いた。 ・会社の設立から、どのように会社変革を起こしてきたかなど、信念とされている内容がコンパクトにまとめられており、非常にわかりやすかつた。 ・経営者として持つべき姿勢と気概について、また、会社はどうあるべきかという理念を学ばせて頂き、大変貴重な話を伺って身の引き締まる思いであつた。 ・「経営者（役員）に逃げはあり得ない」という明快なハラの決め方、従業員に対して「仕事を求めているよ」と伝える大切さ、実践されているからこそその説得力のある講演に大変感銘した。 ・顧客と従業員のために何ができればか、どうあるべきかを考え、貫いておられる姿に感銘を受けた。志を高く持ちたいと思わせて頂ける内容であつた。 ・講師の実体験に基づいた話を聞くことができ、女性初という状況が連続する中であつて、信条とされたことが心に響いた。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・女性経営者の話を直接聞く機会は少なく、モチベーションアップにつながつた。創業時から現在に至るまでの発展過程や取組を分かり易く伺い、参考になった。 ・会社のトップとして、40年間にわたり実際に経営を行ってこられた生の経験から話される言葉には重みがあり、数々の困難な出来事を、手に負えないことはいないと乗り越えられてきた話を伺えて、とても有意義であつた。キャリアウーマンの方にありがちな肩肘をはつた姿勢ではなく、しなやか、でも凛とした姿

	<p>が魅力的であつた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優しさと勇氣のある行動、従業員とお客様を思う姿勢が心に刺さつた。 ・大きな志と強い氣持ちを持って物事に取り組めば、周囲の人が自然とチームになり、大きな目標も達成できることを学んだ。勇氣を頂いた。 ・従業員を大切にされ、目標を共有し、一緒に進んでいく姿勢に共感を覚えた。
--	--

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレート・ガバナンスの基礎知識や最新事例を、分かりやすく教えて頂いた。会社経営においてコーポレート・ガバナンスが大変重要だとよくわかつた。 ・実際の企業の事例をグローバルに紹介頂いたことも、大変勉強になった。 ・非上場企業に勤めているので、このパートの知識は不足していると自分でも感じていたところ、今回とても勉強になった。難しい内容だが、時代とともに求められていること、考え方のポイントを学ぶことができた。 ・取締役会が担う役割、ガバナンスについて、世界的に大きな変化が生じており、それらへの対応を迫られていることなど、短時間で簡潔に講義頂いた。 ・コーポレート・ガバナンスの知識が全くないので、事前にネットなどで調べて臨んだが、ついていくのに精一杯であつた。非常にわかりやすく説明頂き、グループディスカッションもあつたので、知識を吸収できた。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の会社の事例を交えて、具体的に様々な指摘をしてくださり、また、最後のディスカッションで、チーム内のメンバーを交えて、現在の日本の会社の状況を踏まえた発展的な議論をすることができ、興味深かつた。 ・関西ローカルでいると、グローバルで活躍する上場企業に関する仕事をすることが少ないが、広い視点で求められるべきことが再確認できた気がする。その精神は中小企業においても必要となることだと思つた。 ・海外の優良企業のコーポレート・ガバナンス開示状況についての具体的な例示と解説により、海外に比べ日本企業の対応がかなり遅れている現実を理解できた。 ・今、コーポレート・ガバナンス、取締役会に求められている要素について、教多く学ぶことができた。グループディスカッションでは、弁護士、会計士、現取締役、それぞれの立場からの話を聞ける大変貴重な機会が得られた。 ・ダイバーシティへの対応も表面的な教合わせではなく、その中身が大切。そして、そこを投資家も着目していることが良く分かつた。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の理念、経営方針、業績などをもう一度確認して、中長期的なビジョンはどうあるべきか、考えてみたい。また、日々の業務についても、それに応じた判断をする。あわせて自身の今後のビジョン、成長についても再確認したい。 ・自社の取締役会や株主総会の資料を、社外取締役の視座で全体を俯瞰する。 ・コーポレート・ガバナンス・コードについては、改訂内容をフォローアップしていかなければ、配布資料を確認する。当社のガバナンスがどういう状態にあり、どのような課題があるのかについては、意識的に観察を行いたい。 ・理念や絶対譲れないもの、超長期的に成長するために会社には何が重要かといった視点で、物事を考えていきたいと思つた。 ・自身の部署を、「できる」集団にレベラアップさせる。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・会社法と取締役会の構成と役割について、勉強を深めたい。 ・こうなりたいという大きなビジョンを持ち、それに向けて努力したいと思う。 ・コーポレート・ガバナンスについての参考書籍をすべて読みたい。実際、企業がどのようにガバナンスに取り組んでいるのか、情報に敏感になろうと思う。

第2回・神奈川

- ・開催日：2018年10月19日（金）
- ・出席者：30名
- ・講演：「経営者になるということ」
株式会社IHI 取締役常務執行役員 水本 伸子 氏
- ・講義：「法的役割と責任・リスクマネジメント」
鳥飼総合法律事務所 パートナー弁護士 村瀬 孝子 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	17	57%	10	63%	7	50%
2) 良かった	11	37%	5	31%	6	43%
3) 普通	1	3%	1	6%	1	7%
4) あまり良くなかった	1	3%				
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	13	43%	6	38%	7	50%
2) 理解できた	14	47%	8	50%	6	43%
3) どちらともいえない	3	10%	2	13%	1	7%
4) あまり理解できなかった						
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・生え抜きの女性取締役として活躍する講師が、一研究員から、どのような過程で会社全体の経営に責任をもつ立場に至ったのか、その挑戦の過程でどのような心の変化や気づきがあったのか、自然体で話して頂く中に様々な要素があり、非常に刺激を受け、また勇気づけられた。 ・キャリアステップについて示して、単なる経歴ではなく、そこでのような気持ちで仕事をすることがキャリアにつながるかを説明頂けて、とても良かった。 ・異動した先々で最善を尽くして頑張られたことや、今思うと、その時その時に期待されていたこと、それに応えてきたことの話等、今の自分の心に響いた。 ・雇用機会均等法より前に入社された方の苦労を知ることができ、自分たちの置かれている立場の理解が深まった。 ・分らないことを判断しなければならぬ、という言葉には、経営者になることの重みや覚悟を感じた。 ・自分のためではなく人のために働く、色々な人と出会う、一方で勉強は大変だけれどしなければならぬ、といった話を直に向うことができて良かった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な業務内容や役割にも触れながら話を頂いたが、士業の立場からは普段大企業内部の視点に触れる機会は限られているため、とても興味深く拝聴した。 ・女性が経営者として活躍できるということを、実際の経験談から学ぶことができたので、大変励みになった。 ・実際の経験、経歴に基づき、その時々判断や直面する問題点などを踏まえ、

<p>役員の心構えや考え方を同えて良かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周りには、転職をしたことがないメンバーが少ないため、生え抜きの話は大変興味深かった。職位が上がるのに10年かかるという、上場会社で生え抜きの中から、しかも特に女性役員になるという大変さを実感した。 ・1つの会社の中で、どのようにキャリアを積んで今の立場に至ったか、という経緯を伺えたことが貴重であった。 ・人を動かして自分のやりたいことをやってもらおうのが経営で、そこには情が流れているなどという話は、まさに実践されて来られたことだと伝わってきた。その一方で、サクセスストーリー以外の、挫折しそうなになったこと、女性ならではの苦労などがもともと聞ければと感じた。

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・会社法についての理解が乏しかったので、勉強できたことは今の自分にとって有意義であった。株主代表訴訟の解説はとも分かりやすく興味深かった。 ・弊社取締役会サポートにおいて、また、グループリスク管理体制の設計を見直す上で、実践的に役立つ知識が得られた。 ・本を読むだけでは分らない背景などを含め、ポイントを絞って分りやすく説明頂いた。第2回があってもいい。 ・今年、自分では想定外で小さい会社ながらも取締役になったばかりで、色々な心配なことが山積みである。そんな中、法的役割と責任やリスクマネジメントについて話が聴けたことは、タイムリなこともあり、さらに理解を深めることができた。もう少し時間をとって判例などもっと聞いてみたい。 ・内容は多かったがポイントが分りやすかった。途中でグループ討議をいれて頂いたのも理解が進むし、一方的に聞くだけではないのが良かった。 ・役員になることを考えている人にとって、大切なところをカバーしてあり、また、分りやすく元気に楽しく講義頂いて、とても良かった。 ・会社法の復習ができた。特に26年改正以降もきちんとフォローでき良かった。 ・グループ討議では、税理士会計士の視点、実業家の視点、弁護士の視点、それぞれを引き出して話し合えたのが良かった。 ・通常の業務からの視点とは違った視点からのアプローチが、興味深かった。
士業等	

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・役員として求められることや期待されることについて、常に考えて行動したい。 ・リスク管理という観点から、当社グループの内部統制状況を振り返り、PDCAが機能しているか、まずは自分なりに整理し、提案できる事項を考えてみたい。 ・法的な義務のテーマで、訴訟になった事例を調べてみようと思った。 ・自社のケースを、取締役の役割やリスクマネジメントの観点で見直してみたい。 ・参考書籍をさらに読み込み、自身の会社の課題の把握。 ・未経験の部署とのコミュニケーションを強化し、業務内容の理解を深める。 ・会社法（ガバナンス分野）については、新しい制度がどう使われているのかも含めて、もっと日常からアンテナを張って理解を深めておこうと思った。 ・社外役員として必要な知識を身につけるべく、参考書籍を読んでみようと思う。 ・注目する会社の事業報告やIR報告を読み、経営方針などを確認する。 ・士業という専門家の立場だと、社内取締役とはまた異なる面はあるものの、人に動いてもらうためのコミュニケーション力、スタッフへの目配りという点は共通だと思つるので、心がけていきたい。
士業等	

第2回・愛知

- ・開催日：2018年10月25日（木）
- ・出席者：33名
- ・講演：「ダイバーシティ&インクルージョンの実現に向けて」
日本航空株式会社 副会長 大川 順子 氏
- ・講義：「法的役割と責任・リスクマネジメント」
鳥飼総合法律事務所 パートナー弁護士 村瀬 孝子 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	24	73%	8	53%	16	89%
2) 良かった	8	24%	7	47%	1	6%
3) 普通	1	3%			1	6%
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	12	36%	2	13%	10	56%
2) 理解できた	16	48%	8	53%	8	44%
3) どちらともいえない	4	12%	4	27%		
4) あまり理解できなかった	1	3%	1	7%		
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の「愚直に、地道に」「自ら発信、自らの言葉でわかりやすく」はとても説得力があった。100%の社員を同じ方向に向かせることはとても難しく、苦勞している点であるが、その想いで頑張ってみようと思うことができた。 ・最近読んだ本の中でも、「JAL フィロソフィ」の考え方や策定の話と同じようなことが書いてあり、改めて納得した。また、自分が求められていることは何か、会社が求められていることは何かを起点に、全ての物事を考えていくことの必要性を確認できた。 ・JAL の経営破綻をきっかけに、会社の体制のみならず社員一人一人の意識が大きく変わった結果、再生したプロセスが興味深かった。前回の講演もそうだが、トップの発信力がいかに重要かを感じた。 ・物事をシンプルにとらえることの重要性を知ることができた。 ・経営破綻後の役員就任という苦境を乗り越えてきたからこそ、そして女性が多い企業ならではの話を聞くことができた。 ・始まってすぐには話を引き込まれ、「JAL フィロソフィ」や「シンプルに」「素直に」という内容は心に響いた。すぐに自分なりに消化して実践していきたい。 ・業界は違うものの、大きな組織を束ねる上での気持ちの持ち方やコツを具体的に学んだ。考え方や仕組み、フィロソフィなど、キーになることを学べた。 ・仕事に対する取組方やリーダーとしての覚悟を間近で感じられ、刺激になった。 ・「会社は変わるべき部分、変わらないべき部分がある」という言葉がとても印象的であった。
士業等	

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・普段考えることのない「法的」の切り口で、わかりやすく解説頂いた。また、演習もあり、難しい部分もあったが、グループワークの中での弁護士の方の解説補足で理解できた部分もあり、感謝している。 ・営業現場で仕事をしてきたため、改めて「役員と会社の法律関係」について学習する機会がなかったこともあり、大変勉強になった。また、自身の僅かな知識と、本日の講義がリンクしたことで、更に勉強していきたいと思う。 ・自分の所属する会社を想定しながら、講義を聴かせて頂き、リスクをどう捉えるか、何がリスクの低減につながるかを具体的に考えることができた。 ・会社社員の法的責任につき、直近の重要判例を説明されつつ、網羅的であり、良かった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・講義は必要最小限に絞られた無駄のない内容で、日頃あまり触れることのない取締役の責任について、理解することができた。 ・具体的な例を挙げてとても分かりやすい話で、よく理解できた。法人や取締役について、常に職務の視点で見ているが、今回は違う見方ができ勉強になった。 ・企業を取り巻くリスクが多様化・複雑化し、企業や組織が経済活動を存続する上で、欠かすことのできないリスクマネジメントについて学ぶことができた。 ・役員と会社の法律関係、リスクマネジメントの考え方について、わかりやすく説明を受けることができた。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・「愚直に、地道に」「自ら発信、自らの言葉でわかりやすく」の姿勢で取り組んでいきたいと思う。 ・所内のリスクマネジメントする必要性を感じた。また会社法を理解すること。 ・弊社の役割、その中で自分の役割を再度見直してみたい。また、その役割を果たすための具体的な仕組みを考えてみたい。 ・JAL フィロソフィの真似をして弊社のフィロソフィを策定し、社内が同じ方向を向くための1つのツールとなれば良いと思った。 ・難しいことをシンプルに語るという点。決算や事業戦略について、つまりこういうことと簡単に伝え、一丸となって目標に取り組める組織にしたい。 ・早速、役員研修を提案していきたい。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・大会社が実際にどのようなリスクマネジメントをしているか、具体的なことを知りたい。(判例等を学びたい) ・短期的な目標だけでなく長期的な目標も定めること。そして見直す必要性も重要だが、信念は曲げないこと。 ・「素直に」「自分の言葉で」「わかりやすく」「シンプルに」を心がけ、「普遍的な」自分の事務所でのフィロソフィを考え、職員と共有の意識を深めていきたい。 ・今の職場においても、組織を動かす上で必要なフィロソフィや、考え方や仕組みを考えるように心掛けていきたい。 ・取締役の責任について、社外取締役だからそでできることは何かを考えたい。 ・リーダーは哲学を持ち、それを示していくことが必要だと感じた。普段一人あっているのは少数で仕事をすることが多いので、正直実感として持ちにくいところであるが、様々な機会をとらえて、多くの経営者の方の話を聞きたいと思う。 ・情報化の進展により、事業を取り囲む環境は不確実性が増し、一昔前であればあり得なかったことが簡単に起こってしまう時代、経営やプロジェクトマネジメントにおいてリスクをどう捉え、管理するかについて再考していきたい。

第2回・関西広域

- ・開催日：2018年10月24日（水）
- ・出席者：37名
- ・講演：「社長歴13年 経営はおもしろい！」
カフソーテックセル株式会社 代表取締役社長 稲付 嘉明 氏
- ・講義：「法的役割と責任・リスクマネジメント」
鳥飼総合法律事務所 パートナー弁護士 村瀬 孝子 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体			企業			士業等		
	人数	%		人数	%		人数	%	
1) とても良かった	22	59%	9	50%	13	68%			
2) 良かった	12	32%	7	39%	5	26%			
3) 普通	1	3%	1	6%					
4) あまり良くなかった	1	3%	1	6%					
5) 良くなかった	1	3%			1	5%			

2. 講義の理解度について

	全体			企業			士業等		
	人数	%		人数	%		人数	%	
1) とても良く理解できた	20	54%	7	39%	13	68%			
2) 理解できた	14	38%	8	44%	6	32%			
3) どちらともいえない	3	8%	3	17%					
4) あまり理解できなかった									
5) 理解できなかった									

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善の努力を率直に語られる中、従業員に対するスタンスにも人柄の良さを感じられ、経営には人間力が大事だと思った。過去に対するリスクベクトルが必ずやだという話にも、大変感銘を受けた。 ・リーダーは何を考慮どう進んでいけばよいかを、経験をもとに具体的に教えようど現在の自らのテーマでもあり、共感するところが沢山あった。 ・興業種から入られて、ご自身よりベテランの方々がいらっしゃる中で、トップに立ち、短期に会社を変革させた話は、企業に所属するものとして、日々の悩みに通じることもあり、大変感銘を受けた。 ・経営層として大切にすべきと考えられる項目、また醍醐味などについて、ご自身の経験に基づいて語って頂けたことに加え、それらは私がこれまで見出しきだことと重なる部分が多く、共感を持って受け止めることができた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・老舗企業の成長過程やそこに至るまでの社員との接し方等について、実体験に基づいて話を聞くことができ、経営者としての在り方について考えさせられる良い機会となり、勉強になった。 ・今までの仕事では知ることが出来なかったような、経営者ならではの話を聞くことができ、非常に興味深かった。特に、経営理念の重要性や、社員のやる気を引き出すための取組から、講師が、どれだけ社員を大事にしているかということが話から感じられて、良い会社だと思った。

<ul style="list-style-type: none"> ・経営能力、経営者としての資質は、人の心と体を動かす人間力にあるということと強く感じることができた。講師の人間力に終始魅了された。 ・講師が等身大で話してくれたのが良かった。親しみやすく、明日から自分も取り入れようという示唆に富んでいた。 ・中小企業の組織の苦労等の話は、非常に興味深かった。
--

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の機関設計や考え方が新しくなり、過去に会社法を学んだ時と変わっていったことが分かった。やはり、このような勉強の機会には必要だと痛感した。 ・取締役の役割そのもの話であり、絶対に押さえておかないといけない内容だった。自分にとって今回の研修で、一番確認しておきたい内容でもあった。 ・内容全てが新たな学びであった。主として会社法における役員・取締役会の役割や責任について、理論立てて講義頂けた。 ・実務で会社法に接する機会もあったため、内容も頭に入りやすく、とても興味深くもっと知りたかったと思った。 ・取締役の責任、内部統制を構築することの意義を学ぶことができた。 ・会社法による役員と会社との関係・役割について、ある程度の知識はあったが、新たに習得したこともあり、わかりやすい説明で大変勉強になった。 ・時間の短い中、要点を簡潔にわかりやすく講義頂いて、基本的な知識を見直す良い機会になった。 ・法的役割と責任を理解することにより、リスクを顕著に考え、会社の経営判断の糸口になることがよく理解できた。 ・役員・経営責任に関する法的なガイドラインを体系的に知ることができた。会社法上のリスクマネジメントと内部統制システムの関係も明確になった。
士業等	

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO及び内部統制を活用した全社的リスクマネジメントのあり方を構想したい。 ・組織の変革をリードしていくためのコミュニケーションについて、講演を参考に実践してみたい。取締役会、役員会での私自身の判断が適切なのか、講義で教えて頂いた観点に照らして、確認していきたい。 ・経営層としての醍醐味を自分なりに考えてみることに。 ・自社の取締役会、役員、内部統制を照らし合わせながら、復習していきたい。 ・部下の指導の際に頭に入れておきたいのは、「過去を否定しない」「若い社員に任せろ」「自分の意見を最初に言わない」。自分の仕事の進め方では、「不易流行」「知識ではなく意識を持つ」「人脈づくりに終わりはない」。 ・課題を改善する前向きな気持ちを持ったとしても、「変え方」のアプローチに難があったと気づかされた。これまでのやり方や歴史をリスクベクトルしながらも、あるべき姿に近づけるために、リーダーとしてどう振舞うべきかを工夫したい。 ・過去からずっと続いてきたものを頭ごなしに否定するのはよくないという話が印象的だったので、今後、関わる会社について、変えるべきものと変えてはいけないものを見極める力をつけていきたい。 ・関与する会社において、業務改善に関する発表などで、社員に任せると頑張る仕組みを構築していきたい。 ・企業理念の再確認、人を育てること。 ・組織内外との交渉の際、過去を否定せずに改善するという心を心して実践していきたい。
士業等	

第3回・神奈川

- ・開催日：2018年11月12日（月）
- ・出席者：31名
- ・講演：「経営層に求められること」
ANAホールディングス株式会社 取締役副会長 篠辺 修 氏
- ・講義：「技術・産業のメガトレンド、イノベーションを起す経営」
国立大学法人滋賀医科大学 医学研究監理室 室長
バイオメディカル・イノベーションセンター 特任教授 小笠原 敦 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		工業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とも良くかった	23	74%	11	69%	12	80%
2) 良かった	8	26%	5	31%	3	20%
3) 普通						
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		工業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とも良く理解できた	10	32%	5	31%	5	33%
2) 理解できた	20	65%	10	63%	10	67%
3) どちらともいえない	1	3%	1	6%		
4) あまり理解できなかつた						
5) 理解できなかつた						

3. 講演について

企業	講義について
企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営のトップに立たれた方の方の考えるポイントを示して頂いた。 ・技術部門から企画や営業を経て社長になられた貴重な体験談を直接伺うことができ、大変参考になった。マネジメント層としての心得や、自分の持ち味を活かしたコミュニケーションが如何に大切かというメッセージも、大変納得した。「自分を知る」というアドバイスを、自分のこれまでの仕事ぶりに当てはめてみて、素直に反省している。 ・判断することが仕事、先の先まで考えないといけない、我慢と冷静、という言葉から学びを頂いた。 ・「経営トップの心構えはなっていないから準備をしておく」「自分より二つ上の役職が考えていることを正確に知ること」「自分がどのように見られているか正確に知ること」等々、とても参考になった。 ・経営者の仕事は「判断」であるとの話に、非常に共感した。自分が日頃悩んでいることにズバッと突き刺さることばかりで、もっと話を伺いたかった。 ・とても熱く、会社や組織に愛を感じる素晴らしい講演であった。どの経営者にも自身がリードする組織、メンバーに対する深く熱烈的な愛情を共通して感じた。 ・経営のトップの方からの講演を聞くことで、経営層に求められる仕事や考え方を深く学ぶことができた。

・経営トップとして大切なことを率直に伝えて頂いて、ためになった。自分が企業にいた時代に考えていたことに加えて、その延長線上に、さらに大きな視点からの考え方を教えて頂いた気がした。

4. 講義について

企業	講義について
企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・国際競争力のデータなどから、知らなかつたことを、事実を持って説明頂き、非常に分かりやすかつた。日本の危機的状況を再認識した。 ・今まであまり勉強しなかつた内容で、とても興味深かつた。他国の状況、日本の現状が認識できた。交易条件指数等の指標の見方を学べたことは大きい。 ・コストカットなどの従来方法での頑張りには限界に来ていて、これまでにない新しい組み合わせ=イノベーションが必要だと理解した。グループ討議も非常に楽しく参加でき、ただ聞いて終わるのではなく、疑似体験ができて良かった。 ・外部環境についてデータをもとにわかりやすく説明頂き、理解が深まった。 ・自社のビジネスが「技術」「イノベーション」と直結しないので、今回のテーマからは無縁かと思っていたが、非常に参考になった。世界のビジネストレンドからイノベーションのヒントを見出す、という発想に目が開く思ひだかつた。 ・講義で知識を深めることもでき、また短時間のディスカッションながらも、様々な立場、観点からの意見で議論ができたのが、とても新鮮で興味深かつた。 ・イノベーションを起す経営のために必要な視点について、討論も含めて学べた点が良かつた。 ・AIやロボット、そして無形資産の活用について理解を深めることができた。 ・IMDの国際競争力ランキングを時系列に並べて、国際的に見た日本のイメージをデータに基づいて講義頂き、とても興味深い内容であつた。ランキングを踏まえて成長している米国、ドイツの事例をデータから分析頂き、今後の日本の成長に必要なものについて説得力のある講義であつた。 ・ロボットやAIと共存する社会についての話が非常に興味深かつた。また、フリーで議論する時間も非常に面白く、グループ毎の発表内容もとても面白かつた。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	今後取り組みたいこと
企業等	<ul style="list-style-type: none"> ・企業文化を活かすことを意識したい。 ・他の人が決める場面であっても自分外の場合にどう判断するかを常に考える。自分が判断した結果を検証する（仕事以外の場面においても）。 ・交易条件やマネジメント人材構成比など、今回学んだ切り口で、当社の関連産業等の分析を試み、何らかの示唆が得られなかつたか検討してみたい。 ・我慢と冷静に対応すること。 ・短期課題に忙殺される毎日だが、中長期の社会経済情勢を理解し先手の戦略を考え行動すること。 ・新しい企画発案のための情報収集に取り組みたい。超ドメスティック企業のため、世界的なトレンドや大企業の取組などについて、ウチは無縁というムードが社内に蔓延しているのでは、意識改革も進めたい。 ・目の前の問題や作業から距離をおき、俯瞰する力や柔軟な発想を身につけたい。 ・得意分野（単純な工業としての領域でなく、さらに特定した分野）を持つこと、またその周辺分野との関係を理解すること。 ・先を読んで判断する能力が非常に重要であると思つた。時代の流れを常に先読みしながら、マネジメントしていく力を身につけたい。 ・無形資産の評価の視点を忘れず、社外取締役として、今後に生きる事業スキームを提言できるように知見を深めたい。

第3回・愛知

- ・開催日：2018年11月20日（火）
- ・出席者：32名
- ・講演：「社外取締役として…」
川合伸子法律事務所 弁護士
株式会社FUJI取締役、イビデン株式会社 取締役 川合伸子氏
株式会社FUJI取締役、イビデン株式会社 取締役、イノベーションを起こす経営」
- ・講義：「技術・産業のメガトレンド、イノベーションを起こす経営」
国立大学法人滋賀医科大学 医学研究監理室 室長
バイオメディカル・イノベーションセンター 特任教授 小笠原 敦 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	23	72%	8	57%	15	83%
2) 良かった	7	22%	4	29%	3	17%
3) 普通						
4) あまり良くなかった	2	6%	2	14%		
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	18	56%	7	50%	11	61%
2) 理解できた	14	44%	7	50%	7	39%
3) どちらともいえない						
4) あまり理解できなかった						
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・社外取締役の、現役の先生の話が、具体的に理解しやすかった。会社での立場、社外取締役としての活動内容も掘り下げてあり、参考になった。 ・社外取締役の方がどのようなスタンスで取締役会に臨まれているのかを知る貴重な機会になった。自分の実力との差も実感でき、身が引き締まる思いである。 ・執行役員としての案件に対する見るべき視点の参考となった。 ・社外取締役の役割や心がけていることなどを、分かりやすくまとめて頂けた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・前回、取締役の職務について学び、今回は具体的な事例を交えた話で、実際に取締役を選任された場合に大変役に立つであろうと思った。 ・理論をふまえて、かつ体験談に基づく内容で、イメージがつけやすかった。 ・講師が社外取締役に選任された経緯や通常業務等についての具体的な話であり、大変参考になった。もし自分自身が社外取締役に就任することがあるとすれば、本講演で伺った内容を実践していこうと考えた次第である。 ・弁護士という立場、女性という立場からの見解を聞くことができ、また、実際に社外役員に従事した場合の事務局とのやりとり等の生の声を聞くことができ、良かった。 ・社外役員を目指すにあたり、とてもよいロールモデルであった。機会がなければどうにもならない、でも機会がくるまでにすべきこと、機会をつくるため

にできることがあると前向きに思うことができた。積極的に人脈を広げたい。

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションの必要性はどの業界でも共通であり、また現在の自分の課題と重なる部分であった。統計から見ると日本の現状、及び他国との差等も改めて知ることができて、良かった。 ・日本の国際競争力や交易条件指数の推移、アメリカやドイツの事例など、数値をもとにしており、納得できる明快だった。また、こうしたイノベーションを自社に置き換えて考えることもでき、様々な可能性にも気づかされた。 ・今後のビジネスモデルとしては、「ものづくりの能力だけでなく、サービスをも含めた価値創造が重要である」との言葉が深く印象に残った。その具体的例は経営困難な時期を経た後の独創的アイデアであり、深く感動した。 ・グループ企業や自社において、変化への対応、決分分野でのデータ活用や顧客への付加価値提供が重要であり、進むべき未来を検討する上で参考になった。 ・講師の視野が広く、技術の話も多かったもので、非常に参考になった。また、グループの検討結果に対するコメントの仕方も的確で、評価のポイントやコメントなど対人関係にも大変参考になった。 ・世界における日本の状況を把握することができ、日本の産業を今後どうしていくべきよいかという、多角的で大変示唆に富んだ話を聞いて良かった。 ・「ものづくり+サービス」の必要性はわかっているようだが、わかっていなかった部分があるが、事例やグループ討議で他の参加者の生の話が聞けたのも良かった。 ・普段あまり馴染みの薄い話を大変分かりやすく講義頂き、時間があつという間に過ぎていった。弁護士の仕事は紛争の事後処理という分野が大半であるところ、前向きな話で、日本における生産性の向上についての展望のみならず、自身の未来についても夢を描くことができ、アイデアの豊富さを感じた。 ・メガトレンドを経営に活かすことができれば、事業の持続可能性と事業の収益性を高めることができるだけでなく、規模の大小によらず、多くの企業にビジネスチャンスがあることを、グループディスカッションを通じて感じることができ、ように導いてくれた講義であった。
士業等	

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・イノベーションについて、深く考え、新しい発想で企画提案ができればと思う。 ・トレンドや数値情報を自分事としてとらえ、先を読む習慣を身に付けること、ざっくりと人に話す中で議論を深めること。 ・日常生活の中で、異分野融合の新しいビジネスモデルを創造するヒントを得られるようにアンテナを張ること。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・社外取締役ではないにしろ、顧問先の事業内容を今一度把握し、より適切なサービスをしていきたい。 ・情報収集の重要性に改めて気づかされた。これまで以上に情報収集に努め、責務を果たしていきたい。 ・自分自身の現在の職務においても、基本的に大切にしていることと新しいアイデアを掛け合わせるなどの発想を持ち、生産性を上げていこうと思う。 ・世の中の現状、他社の動向（今ある製品、他社が試みて失敗した製品等）を知ることが自社のビジョン構築や企画のベースだと感じたので、色々な方面にアンテナを張っていききたい。

第3回・関西広域

- ・開催日：2018年11月8日(木)
- ・出席者：36名
- ・講演：「可能性を生きる ～人と共に自分らしく輝くために、未来を創る～」
関西大学 客員教授、(一財)大阪府男女共同参画のまち創生協会 理事長、
関西電力株式会社 監査役、積水ハウス株式会社 監査役 横村 久子 氏
- ・講義：「技術・産業のメガトレンド、イノベーションを起さず経営」
国立大学法人滋賀医科大学 医学研究監理室 室長
バイオメディカル・イノベーションセンター 特任教授 小笠原 敦 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	28	78%	13	72%	15	83%
2) 良かった	8	22%	5	28%	3	17%
3) 普通						
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	22	61%	12	67%	10	56%
2) 理解できた	14	39%	6	33%	8	44%
3) どちらともいえない						
4) あまり理解できなかった						
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のキャリア形成について、具体的な体験を同うことができ、自分に落とし込めイメージしやすかった。女性リーダーとして課題や心構えが参考になった。 ・その日が突然にやってきましたとき、すべて整ってから、準備しただけでも、走りながら考え、勉強していけばよい、という言葉に大きな勇気を頂いた。 ・実際に複数の大企業の社外監査役をされている講師の話を聞ける機会は貴重であった。女性の社外取締役の実際の役割について具体的なイメージがわかった。 ・どのような状況にあっても、自分の信念に基づいて行動を起こし、道を切り拓いてこられたことに感銘を受けた。厳しい時代の苦労が伝わった。 ・人生の節目目の考え方や、女性役員としての所作、経営者としての視点と、色々な面について教えてくれ、とても勇気づけられ、また感動しながら拝聴した。 ・上場企業での監査役役割や女性活躍促進の必要性、また、人としての生き方を自身の体験を踏まえ話して頂き、参考になった。 ・困難にぶつかっても、自ら解決策を探して何事も乗り越えていくパワフルな活躍に勇気づけられるとともに、自分の未熟さに気づかされた。 ・様々な局面を乗り越えてこられた話に、難しく考えて立ち止まらないう、思うように進んでいけば何か色々できるのかも！と元気を頂いた。 ・当時の女性にとっても、の茨の道だっただろうに、大胆に、淡々と、自身の常識と
士業等	

<p>可能性を信じて突き進んでこられたという話しぶりに、勇気をもたらした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今と違い、女性が男性と同等に働くことがまだ社会的に浸透していない時期に、家庭の事情(育児・介護)に翻弄されながらも、節目でチャンスを手掴んで、今日まで歩んでこられた経験談を聞いて、ためになった。
--

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者に必要な発想やビジネストレンド、経営予測を数値から読み取る重要性などを習得できた。 ・日本経済の現状と今後の課題、進むべき方向性などの話や、データの見方が大変勉強になった。自社が取り組んでいることの意味を、改めて理解できた場面もあった。サービスを含めた価値創造、技術とデータの掛け合わせ、異分野融合は、何か新しいことを考える際の土台にしたいと思う。 ・世界の流れ、未来の構図をとらえながら、自分の会社がどういう立ち位置をとるべきかを考える上で、非常に参考になった。 ・技術革新の話はもちろんだが、経済的な国際競争力の話など、具体的なデータ、資料とともに、わかりやすく話して頂き、これまでにあまり聞いたことのないような、とてもレベルの高い話だと思った。 ・「ものづくり日本」の時代はとくに終わっており、デジタル分野、AI・ロボットの活用なくして国の発展は見込めないことが、データを持って示されたことで実感できた。他人事ではなく、自社でも真剣に取り組むべき課題だと感じた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な統計に基づき、現状の日本の問題点やどのようにして国際競争力を上げていくべきかという話を頂き、非常に説得力があり、大変勉強になった。 ・技術の可能性が想像以上に進んでおり、今後の社会における情報活用の重要性を実感するとともに、異分野とのコラボレーションによる自由な発想の大切さを教えて頂いた。 ・グループでアイデアを出し合い、新しいビジネスモデルを考えるという討議が、新鮮で楽しかった。他のグループのビジネスモデルも面白かった。 ・交易条件指数の変化について、とても参考になった。今後の経済、技術の発展及び方向性について考える良い機会となった。 ・モノとサービスをセットで売ると売るというスタイルは、周囲で始まっているが、それを意識して、新しいビジネスモデルとして討論したことが有意義であった。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・データや指標をもって、論理的に説明ができるように意識したい。 ・社内において、付加価値をつけて商品であるサービスを固める術を検討したい。 ・異業種の方とのディスカッションを通じて新事業・新サービスを考えると、アイデアが広がり、当初予想もつかなかった方向に話が展開するなど大変面白い経験であった。今後も異業種の方とお話する機会を増やしたい。 ・固定概念にとらわれず、新しい視野を持って変革を意識した業務を遂行したい。 ・自分は世の中をこう変えたい、という志を持って働きたいと思う。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの顧客ニーズに合ったシステムを構築するために、広い観点から具体的に構想を練り直したい。データをビジネス化するためのプランを考える。 ・困難にぶつかっても、解決策を柔軟に思考し、いろいろな知識を融合し、新しいアイデアを持って、切り開くことが大事だと思ったので、そのように取り組んでいきたい。 ・ユーザーの立場に立ったモノやサービスの提供は、どう工夫し、変革すればできるのかを常に考えていきたい。

第4回・神奈川

- ・開催日：2018年12月14日（金）
- ・出席者：28名
- ・講義1：「大成建設における経営戦略としての女性活躍推進への取組」＜選択制(企業)＞
大成建設株式会社 管理本部人事部部长 堀入 徹弥 氏
- ・講演：「なりたいたい自分、ありたい自分」
株式会社フアンケル 取締役執行役員 佐藤 由奈氏
- ・講義2：「財務・会計」＜選択制(工業)＞
早稲田大学大学院（ビジネススクール）教授 西山 茂氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		工業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	17	61%	8	57%	9	64%
2) 良かった	9	32%	4	29%	5	36%
3) 普通	2	7%	2	14%		
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義2の理解度について

	全体		企業		工業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	10	56%	7	54%	3	60%
2) 理解できた	7	39%	5	38%	2	40%
3) どちらともいえない	1	6%	1	8%		
4) あまり理解できなかった						
5) 理解できなかった						

3. 講義1について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的に男性中心であった業界での取組というところで、当社の実情に照らしても学ぶところが非常に多かった。 ・具体的な施策について話を聞くことができた。「男性優位の職場」イメージの業種で、男性が主導した取組であること、また、配偶者も含めた施策を行っていることが、大変興味深かった。 ・女性だけでなく、男性社員へのアプローチ、特に介護への対応に2010年から取り組んでおられ、参加者が非常に増えているところ、また、女性管理職の数の増加し、効果を出しているところが素晴らしい。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は自営の工業、その前は外資系勤務だったので、日本の企業での女性を巡る環境や変化をリアルに説明して頂けて、その現状を、若干のカルチャーショックを感じながら、手に取るように知ることができて良かった。 ・大手建設会社という、女性が最も少ないであろう職場というイメージがあったが、かなり進んだ取組をされている話を拝聴できた。 ・女性の役員または管理職登用というところ、どうしても子育て支援ばかり目を向けられることが多いと思うが、親と同居または実家の近くに住んで親の面倒をみるという介護についても、子育てと同様にバックアップしようという体制である旨伺って、非常に共感できた。

4. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・しなやかに活躍している女性役員の実体験は、非常に刺激になった。 ・役員（組織長）を務めるにあたっての心の持ち方、考え方が参考になった。また、迷いが生じたときの整理の仕方は、自身の経験とも合致し、共感した。 ・ありたい姿を明確にすること。それが創造力につながるということに感銘を受けた。また、悩んだ時はホテルに在館にまでなり、次に選ぶ選択枝によって周りにあたえる影響がどのくらいあるのかまで、とことん整理して考えるという話も、大変印象に残った。 ・企業経営は、社会課題の解決、人のためになることをすればおのずと利益が出るという好事例を紹介頂き、大変ためになった。 ・現役で活躍されている女性役員の公私ともにもわたる話を伺い、刺激を受けた。 ・誰かに喜んでもらうという原動力、他者にとっても自分事化する推進力、なりたいたい自分のビジョンを持つこと。 ・比較的若くして活躍されている女性役員の方に、生き生きと楽しみながら自然体で進んできた道を話して頂いて、元気をもらえたように思う。 ・女性ならではの視点から、仕事への姿勢のみならず、生き方についても学ぶことが多かった。
工業等	

5. 講義2について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・一通りは理解しているつもりの内容だったが、企業の実例などを挙げて説明頂き、非常に面白く視野が広がった。 ・業種別の財務諸表の読み解き方が大変勉強になった。 ・短時間の中でコンバクトに、財務・会計に関する必要な知識をインプットして頂いた。もともと財務・会計に関する知識が弱点であると認識していたため、参考書籍とあわせて再度確認したい。 ・BS/PL/キャッシュフローについて、再確認できて良かった。 ・とてもダイナミックな授業で、網羅的に財務会計の基礎が短時間で学べた。 ・財務・会計の中でも、経営者として大切なポイントに絞って話して頂いたので、焦点が絞られていて良かった。 ・具体的な事例問題も出して頂き、とてもわかりやすく説明頂いた。 ・通常の業務とは逆の立場だったため、言葉の使い方や見せ方が大変参考になった。早速業務に取り入れていきたいと思った。
工業等	

6. 本日の研修について、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表から経営の特徴を理解できるようにしたい。 ・日常の小さいことでも考え抜くようにすること。決算データに触れる機会を増やすこと。組織としてビジョンを持つこと。 ・自社の財務指標を改めて見直し、もし取締役だったら何を指摘するか、検討してみる。 ・自社のみならず、同業他社の動向を注視すること。財務・ファイナンスに関する苦手感をなくすこと。 ・他の企業の事例等を調査するなど、組織マネジメントに関する理解を深めたい。 ・経営者目線で会計情報を意識する習慣をつけていきたい。 ・自分が置かれている立場を見直し、改善のための思考や視点を設定する。 ・Must（すべきこと）、Can（できること）だけでなく、Will（やりたいこと）を明確にすること。 ・スタッフに動いてもらうときの動機づけの仕方を改めて考えたい。
工業等	

第4回・愛知

- ・開催日：2018年12月17日（月）
- ・出席者：32名
- ・講義1：「カゴメのダイバーシティ推進について」 <選択制（企業）>
カゴメ株式会社 常務執行役員 CHO(人事最高責任者) 有沢 正人 氏
- ・講演：「変革はリーダーから始まる」
豊通商株式会社 取締役会長 加留部 淳 氏
- ・講義2：「財務・会計」 <選択制（工業）>
早稲田大学大学院（ビジネススクール）教授 西山 茂 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体			企業			工業等		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
1) とても良かった	18	56%	8	50%	10	63%			
2) 良かった	13	41%	8	50%	5	31%			
3) 普通	1	3%			1	6%			
4) あまり良くなかった									
5) 良くなかった									

2. 講義2の理解度について

	全体			企業			工業等		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
1) とても良く理解できた	11	46%	9	56%	2	25%			
2) 理解できた	11	46%	6	38%	5	63%			
3) どちらともいえない	2	8%	1	6%	1	13%			
4) あまり理解できなかつた									
5) 理解できなかつた									

3. 講義1について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・理念に基づいて具体的な施策に落としいく過程や、社内の変化の様子が大変参考になった。 ・やるべきことは突破していく、その姿勢に大変勇気を頂いた。 ・最も難しいのはマネジメント層の育成と意欲向上であり、会社が主導する時代ではなく、チャンスを掴むのは本人次第であり、その土台を形成するのが会社であるということが、腹落ちした。 ・取り組みられている人事制度改革は、参考になることが多数あった。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営層の実行力、みなぎる熱い思いに触れることができ、楽しく興味深く聞くことができた。かつ、具体的に考え行動することの意義を考えさせられた。 ・大手企業の取組でありながら、中小企業でも可能な内容もあり、工業でも、場合によっては取り組みそうな内容だった。 ・日ごろ人事政策というものを考える機会はありませんでしたが、とても画期的な取組を紹介して頂き、人事政策はまさに経営だということを実感した。 ・会社がどのように変わってきたかということがよく分かった。こういう風に組織は変わっていくことができるのだと分かった。 ・多様性を引き出すことによって、新たな価値を生み出すことを、事例を交えてわかりやすく聞くことができた。

4. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者となっても常日頃考え、規律あるリーダーとしての姿勢は学ばべきことが大変多く、自らを律して今後の会社人生を過ごしていかなければと自覚した。 ・長年トップを務めていらした方々の言葉は一つ一つが重く、また、我々への期待のメッセージが伝わってきた。 ・経営の共通言語は、数字、語学、デジタル対応力という指摘に、自分に不足している知識を再認識できた。参考書籍3冊を挙げて頂いたことも良かった。 ・大企業トップの視点を自らの言葉で語られ、求められる知識・スキル・感覚を理解できた。講師が常日頃心がけていることが、いずれも大切だと痛感した。 ・トップの話は経営者としての立ち位置の取り方についての示唆に富み、また、社外取締役ができたことによる利点、特に女性社外取締役の役割をお聞きすることができたことが良かった。 ・経営者としてどのようなことを大事に社員と接しているか、経営の舵取りをしているか、具体的に感じることもできた。 ・デジタル(IT)からは逃れられないという話があり、苦手意識で逃げていた身としては、反省した。また、講師が、60歳を超えて勉強されているということに感銘を受け、自分も逃げずに取り組もうと思った。
工業等	

5. 講義2について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・業務上の知識だけでなく、同業他社との比較点なども理解できた。 ・会計簿を見るのが楽しくなった。他の企業のものも見てみたくなった。借入金などをぐぐりにするのが良いかの目安も、分かってきた。 ・苦手な財務・会計を分かりやすく、また、実例等含め講義頂いたため、様々な企業を経営の視点から見ると、参考になると思う。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・業種による財務の見方方について、理解を深めることができ良かった。また、財務やその他の情報をもとに企業に関する知識の深め方を学ぶことができた。 ・弁護士である自分にとって「財務・会計」の分野は、通常の業務においても必要とされる場合があるにもかかわらず、苦手分野でもあったところ、分かりやすく講義くださり、積極的に講義に参加することができた。 ・分かりにくい財務・会計を、本当に平易に、また、企業の特長などを分析することを通じて、楽しく教えて頂いた。

6. 本日の研修について、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計分野、決算書を読み解いて戦略立案することは、役員にとつて重要だと認識したので、時間をつくって勉強したい。 ・「勇氣と覚悟を持って」「ビジョンを持って目標設定、小さな成功と失敗を繰り返し、大きな成功へ」という姿勢を大事に、業務や施策、部下育成を実践する。 ・社内のダイバーシティ推進活動。 ・変革を恐れず、積極的な企画・提案をすることで、自分を鍛えること。 ・経営者が考えていることを理解する努力をし、社内に分かりやすく展開する力をつけること。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計の知識を習得し、数字から会社を読み解く力を身につけたい。 ・自律と自立を心がけ、今後の自分を考えていきたい。 ・変革には熱意を持ち続けることが必要。社外のネットワークや参考書籍を通じ、外部からの影響を受けることによって、行動力を身につける。 ・社会の変革、世界中の企業の動向など、情報収集に努めたいと思う。

第4回・関西広域

- ・開催日：2018年12月19日(水)
- ・出席者：36名
- ・講義1：「多様性を活かす経営 ～グローバルから女性活躍まで～」＜選択制(企業)＞
株式会社アシックス 執行役員 CSR 統括部長 太田 めぐみ 氏
- ・講演：「クリエイティブ経営」
株式会社ファリア 代表取締役社長 岡崎 忠彦 氏
- ・講義2：「財務・会計」＜選択制(士業)＞
早稲田大学大学院(ビジネススクール) 教授 西山 茂 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	23	64%	13	72%	10	56%
2) 良かった	12	33%	4	22%	8	44%
3) 普通	1	3%	1	6%		
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義2の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	14	56%	8	50%	6	67%
2) 理解できた	11	44%	8	50%	3	33%
3) どちらともいえない						
4) あまり理解できなかった						
5) 理解できなかった						

3. 講義1について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイバーシティの推進室を担当していることから、女性活躍の具体的な事例も多く、また体験された内容は具体的であり、今後の業務に役立つ内容であった。 ・外資と国内企業との違いなど、実際に経験されたことをもとに話されているため、説得力があり、わかりやすかった。 ・現実すぎもせず理想すぎもせず、これまでやってこられたこと、今が完璧でもないことなど、等身大の姿がよくわかった。 ・外資系企業と日系企業の違いや意思決定の仕方など、対比が興味深かった。同年代の女性が、企業の役員として活躍されている様子に触れられた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に経営に関わる女性執行役員の方の、具体的な話を聞くことができた。外資企業と昔からの日本企業との役員会議の比較が、興味深かった。 ・キャリアのある方でありながら、モチベーションが下がった時期もあると飾らない話を聞くことができたため、良かった。 ・新しい組織に入って、どのような挑戦をして部下を束ね、成長させていったか、具体的な手法を話して頂いたので、参考にし、自分も実践したいと思った。 ・自分らしさを活かし組織全体のマネジメントを牽引しておられ、刺激を受けた。 ・誠実で謙虚で努力を惜しまない人柄が、講義を通じて伝わってきた。男性の多い組織内でリーダーシップをとる女性の素敵なロールモデルを拜見できた。

4. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者としての視点や視座、周囲の巻き込み方、どうあるべきかを非常に明確に打ち出されて、新鮮な気持ちで聞くことができ、納得度も高い内容であった。 ・ゼロベース、仕事の棚卸しは、ちょうど自社の取組と重なり、10のうち4をやめる、そして面白い会社を創るなど、考え方が大変参考になった。 ・ビジョンを明確にして、社員をポトムアップで動かすというのが理想的な企業経営であり、刺激を受けた。自分にとって、足りないものはビジョンだと思っ ているので、とても参考になった。 ・自社の伝統を大事にしながらも、自らの信念や想いを持って未来に向かって新たな取組を進めていく経営層トップの熱意を感じた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史のある企業でありながら、常に新しいことを取り入れて、変化していくこうとする姿勢が興味深かった。 ・クリエイティブかつユニークな発想を持っておられ、その経営の自由な雰囲気 を非常に魅力的に感じた。 ・新しいことをおこすには、何かを捨てるというメッセージが印象的であった。 ・面白く魅力的な仕事がある場に、面白い人が集まること、そして、面白く魅力的な仕事とは、社会のニーズに対して多様性をもって想像を超えるサービスを 提供すること、人をワクワクさせるような場をつくることだと、実感することができた。今後の周囲への提案に活かしていこうと思う。

5. 講義2について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表から読み取れることを、非常にわかりやすく丁寧に説明頂き、理解の深まりを実感できた。ワークで取り組んだ問題は、講義前は分かる気が全くな っていなかったが、講義後は読み解くことができた。 ・用語の意味を学べたのはもちろん、財務諸表を読み解く企業の特徴も知ることができた。様々な企業の財務諸表をケーススタディとして学んでいきたい。 ・財務諸表の説明では様々な企業の例を挙げて頂き、とてもわかりやすく、クイズも楽しんで取り組めた。最もわかりやすく財務会計が初めて面白いと思えた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の情報量に圧倒された。いろいろな企業の特徴を知ることができて、興味深く最初から最後まで、ずっと楽しい授業であった。 ・よく知られている具体的な会社を例にあげながら、数字の意味を理解できるように解説していただき、実践的でわかりやすかった。

6. 本日の研修について、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・シンブルに考え、周囲をできるだけ巻き込んで実行すること。変革するときには環境を大きく変えること。 ・自社、取引先の財務内容をチェック、理解し、提案につなげていきたい。 ・同業他社の財務諸表を見て、自社との差異を確認してみる。 ・今の事業環境にあわせ、斬新な発想で新領域や新ビジネスに取り組みむ企業について勉強したい。 ・チームを率いるためのリーダーシップやビジョンの展開を行っていきたい。 ・自社とベンチマークにすべき企業の選定とその財務分析。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・組織体制を強化するために、意識改革を行う。常に自分の言動を意識し、社員との交流を深め、当社の理念を共有し、日々の業務に取り組みたい。 ・「面白い事をする事業に、面白い人が集まること」「社会のニーズに多様性をも って対応し想像を超える魅力的な空間をつくること」を実感した。自らの事業並びに関与する顧客先の事業に関する提案の中に盛り込んでいきたい。

第5回・神奈川

- ・開催日：2019年1月22日(火)
- ・出席者：28名
- ・講義：「企業価値と経営戦略」
上智大学 経済学部経営学科 教授 網倉 久永 氏
- ・講演：「女性役員を目指した意識行動変革を」
首都大学東京大学院 経営学研究科 教授 松田 千恵子 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	14	50%	5	38%	9	60%
2) 良かった	12	43%	6	46%	6	40%
3) 普通	2	7%	2	15%		
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講義の理解度について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	10	36%	4	31%	6	40%
2) 理解できた	16	57%	8	62%	8	53%
3) どちらともいえない	2	7%	1	8%	1	7%
4) あまり理解できなかった						
5) 理解できなかった						

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・非常にわかりやすく、具体的にイメージしやすかった。1m以内でできることが何かあるはずだ、2つ上の目線で判断、正しいことを伝える時代、声を上げ続けなければならないため、女性のコミュニケーションカの実験の話など、ためになった。 ・これからの世界は「国」ではなく、「力のある企業」が動かしていくという話も、何となく感じていたことを改めて聞くことで、現実感を併い危機感を感じた。 ・会社で働いてきて窮屈に感じてきた点を「日本型経営」の特徴だと説明して頂き、納得できた。「女性役員候補」の期待に過剰適応しようとしてストレスをためていた自分にも気づけた。直截的な話しぶりに勇気を頂けた。 ・既知のコンセプトではあったが、実際、社外取締役をされている講師からの言葉だけで、説得力があった。「正論で勝負する」は社外の立場であるからこそ重要であり、できることだと思った。 ・行動・現象・環境の変化と、意識改革の必要性の関連を、具体的な事例で非常にわかりやすく解説されていた。前向きに背中を押して頂いた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・難送船団方式で進んできた今までの会社組織が、多様性を必要とされる組織に変わっていく中で、女性が活躍できるチャンスは広がっている。誰も自信があつて女性役員を始めた人などいないと、とても励まされ、背中を押して頂いているような元気の出る素晴らしい講演であった。 ・社外役員という立場からの説明であり、従来の社内からの昇格により役員になられた方とは異なった視点での説明であり、企業の経営についての変遷について

	<p>て客観的に分析されていて、興味深いものであった。勇気を頂いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランを作成しながら悩んでいたことを、ズバリ解説してくださるような内容で、非常に刺激を受けた。心に響くことばかりであった。 ・生え抜きの取締役とは違う視点での講演は、社外取締役・監査役を目指す自分にとって、とても説得力があった。経営者は事業部門の責任者とは違う、という言葉がとても印象に残った。
--	---

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・知識としては分かっていることでも、具体的な事例をあげて説明頂いたこと、「経営戦略」の意味するところをきちんと因数分解して頂いたことが、新鮮であった。 ・これまでぼんやりとイメージしかもっていなかった「企業戦略」について、考え方の根拠を明快に解説して頂いた。 ・企業の戦略について 競合他社の戦略との違い、内部分析・環境分析を参考に 自社に落とし込み、再度考えてみたい。 ・過去に勉強した内容ではあるが、機会と脅威は解釈次第という点、また発見していくものだという点が新しくかった。また、「もし自分が社外取締役だったら」という視点での判断軸を新たに持てたのが良かった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略について、考え方を講義して頂き、今まで、漠然としか考えられていなかったもので、今後、とても役立つと感じた。 ・多様な側面から企業価値を検討するという考え方を学ぶことができ、とても勉強になった。 ・経営戦略についての説明が、非常に具体的にわかりやすかった。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをあまり伝えられず、内部環境だけでなく、外部環境も注視して、いろいろな角度から物事を見るようにすること。 ・これまで、とかく男性の考え方に合わせて行動し、発言もコントロールしてきたが、今後は私なりの想いをきちんと発信していくようにしたい。 ・自社の状況を「もし社外取締役だったら」という視点で判断してみること。 ・今日的な経営体制に近づけるよう、身近な疑問点については組織の課題として改善に取り組むこと。 ・自社の強み・弱みをフレームワークで分析してみる。 ・「自分の船は自分で漕ぐ」こと。「違う頭」は持っている自信があるので、これからも出る杭打たれてみる。 ・女性のキャリアについて近々取引先の女性陣に講演をする機会があるので、今回の講演内容の一部を紹介したいと思う。 ・「まずは半径1メートルから始める。」ということによって自分の身近なところから1歩今の自分の殻を破る、変化する方向に進んでいきたい。 ・経営と興味分野が、実際には経営陣においても知識が手薄であるということを知り、興味を持ち、もう少し学習をし、業務に活用できないかと考えている。 ・アクションプランを見直すとともに、自分自身の能力向上のため、参考書籍を読む必要があると感じた。 ・職場のSWOT分析と価値について考察を試みたいと思った。企業と大学は違うが、大学経営に関する考察をすれば、競争優位、競争劣位、競争均衡の視点は大変重要だと思った。
士業等	

第5回・愛知

- ・開催日：2019年1月11日（金）
- ・出席者：31名
- ・講演：「激変する世界環境 ～これからの取締役とは～」
G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長 橋・フクシマ・映江氏
- ・講義：「企業価値と経営戦略」
上智大学 経済学部経営学科 教授 網倉 久永氏

1. 研修プログラム全体について

	全体			企業			士業等		
	人数	%	人数	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	16	52%	9	64%	7	41%			
2) 良かった	13	42%	3	21%	10	59%			
3) 普通	2	6%	2	14%					
4) あまり良くなかった									
5) 良くなかった									

2. 講義の理解度について

	全体			企業			士業等		
	人数	%	人数	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良く理解できた	11	35%	4	29%	7	41%			
2) 理解できた	20	65%	10	71%	10	59%			
3) どちらともいえない									
4) あまり理解できなかった									
5) 理解できなかった									

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・海外を含め数多くの経験を持ち、プラスに思考を持って、現役で長くトップクラスの経営者としての地位を持ち続けた素晴らしい女性から学ぶことができた。 ・大変なために延長時間もまだ聴きたい話であった。 ・様々な企業で、取締役を経験された実績に基づいた高い視座での話で、なかなか自分自身とはかけ離れた部分が多くあったが、貴重な話を伺うことができた。 ・講師が大切にしていることとして話して頂いた内容は、記憶に留めておきたいと感じた。 ・外部取締役の役割を理解できたので、外部取締役を置くことのできないぐらいいろんな弊社では、内部の取締役が意識して任務に当たらないといけないことを再認識した。 ・社外取締役の先駆者である講師の話の全てが刺激的で、短時間であったが、取締役について求められていることが、私なりに理解できたと思う。 ・グローバルな体験ではあったが、経験に基づく具体的な話や視点は、規模にかかわらず参考になる貴重な内容であった。 ・社外役員等についてより具体的なイメージを持つと共に、あるべき姿についても自分なりに考えることができた。事実に基づく議論、証拠を示しての説得の重要性は現在の仕事においても当然であるが、改めてその有用性を認識することができた。 ・女性の立場からガバナンスの歴史を知ること、違った角度から考える機会を得た。
士業等	

	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな視点からの講演でとても参考になった。自身が女性であることは自覚していたが、アジア人であるという視点をもっていなかった。ずっと、国内で仕事をしてきたので、海外への機会がなかった、と言ってしまう言い訳になるが、海外経験のない人間であることをいままさらながら残念に思う。それに代わる何か、探したいと思う。
--	--

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的企業の例をあげて話して頂くことで、非常に分かりやすく、親近感を持っていて、講義を受けることができた。 ・実際の企業の例で経営戦略について学ぶことができた。会社の戦略を考える際に、「競争優位」「競争均衡」「競争劣位」を考えたいと思う。 ・具体的な顧客対応を事例にあげた上で、その根本にある各企業の経営戦略の違いを学ぶことができた。 ・実企業に置き換えて考えることができ、年代の違う購買層（学生）の考え方や行動も教えて頂き、分かりやすかった。 ・自社に強みはないか、とばかり探していたが、振り返ってみても、弱みであり苦労したところが、今強みに代わっていることに気づかせてもらった。 ・企業戦略といっても、本来の意味での企業戦略を立てることは容易ではなく、企業価値に直結する企業の本来の姿をとらえていくことが重要だとわかった。 ・事業環境の変化が激しく、顧客のニーズが多様化している現在の市場においてタイムリーな内容であり、そのような市場の変化に対応するために必要な戦略について考えることができる内容であった。 ・様々な会社の経営を仕事の中で見ている中で、今一度経営戦略について学術的な側面から勉強し直してみたら、とても楽しく興味深く感じられた。 ・経営戦略について、事例をもとに強みや脅威を考慮しながら具体的に考えることができ、大変勉強になった。
士業等	

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚的ではなく、数値から導き出される根拠を提示することの重要性を改めて認識した。「外柔内剛」の姿勢で取り組みたいと思った。 ・「外柔内剛」の姿勢で社内外の方とコミュニケーションをとる。自社・自身の状況を確信する上で、多面的な見方を意識する。 ・「SWOTフレームワーク」に物事を当てはめてみて、状況を分析し、自社の強み弱みからではなく、外部環境を分析したうえで、考える習慣を身に着けたい。 ・経営戦略は、具体的な計画そのものではなく、一連の経営活動の背景にあって、それらに一貫性をもたらずロジックとしての「基本方針」であることを肝に銘じ、自社の経営戦略を理解した上で、日常の業務にあたること。 ・自社の企業価値について改めて考えてみたいと思った。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の「外柔内剛」を培うための努力。 ・クラウドに対するデータや、内部環境・外部環境に基づいた企業価値を高めるアドバイス。 ・自分が目指す社外役員等のイメージがより具体化してきたと感じているので、これをもとにアクションプランをブラッシュアップし、実行に移して行きたい。 ・自社の経営戦略を練る前提として、経営環境を知ること（環境分析）が大事であると理解した。社会で起きている色々な事象に広く関心を持って行きたい。 ・経営戦略は、個人事業主としての弁護士にも必要であると考えるので、今後の弁護士業務についてどのような戦略を持つていくのか検討したいと思った。

第5回・関西広域

- ・開催日：2019年1月21日（月）
- ・出席者：35名
- ・講演：「激変する世界環境 ～これからの取締役とは～」
G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長 橋・フクシマ・映江 氏
- ・講義：「企業価値と経営戦略」
上智大学 経済学部経営学科 教授 網倉 久永 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体			企業			工業等		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
1) とても良かった	23	66%	11	61%	12	71%			
2) 良かった	10	29%	5	28%	5	29%			
3) 普通	1	3%	1	6%					
4) あまり良くなかった	1	3%	1	6%					
5) 良くなかった									

2. 講義の理解度について

	全体			企業			工業等		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
1) とても良く理解できた	10	29%	6	33%	4	24%			
2) 理解できた	21	60%	10	56%	11	65%			
3) どちらともいえない	2	6%	1	6%	1	6%			
4) あまり理解できなかった	2	6%	1	6%	1	6%			
5) 理解できなかった									

3. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・社外取締役の必要性について、明瞭に説明して頂いたこと、さらに、その必要性について信念を持たれていることが伝わってきて、感銘を受けた。 ・人生の岐路においてどのように判断されたのか、どういう努力をされてきたのかを具体的に聞くことができ、良かった。 ・女性リーダーとして、目指したい姿を感じた。 ・物腰柔らかく話ぶりの中に、芯の強さを感じ、講師のような経営者になりたいと思った。また、現在に至るまでに大変な努力をされたことも拝聴し、もともと努力が必要だと感じた。目標にできる方にお会いでき、有り難い。 ・コーポレート・ガバナンスと役員として身につけるべきスキルを詳しく説明頂き、大変感銘を受けた。また、米国の取締役を長い間経験されていたこともあり、日本以外の視野の広いガバナンスの構築やビジネスの進め方等、大変参考になった。様々な国籍の経営者と接することがあり、それぞれの地域、文化に対する理解が不可欠と感じた。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・社外取締役として、誰の利益代表かということ念頭に、外部に対する説明責任や説得力が必要であることを考えながら、責務を果たすことが重要であると再認識した。 ・社外取締役に必要な視点や能力、資質について理解が深まった。 ・女性でグローバルに第一線で取締役として活躍されている方が、これまでの軌跡、社外役員に求められるところなどを、豊富な情報量で講演していただき、

	<p>もっと時間をかけて教えて頂きたいと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性リーダーとして、社外取締役の経験者として、実践的でわかりやすく、メリット・課題・これからの女性リーダーへ期待を話して頂き、大変モチベーションが上がった。 ・日本を代表する企業で社外取締役を歴任されてきた経験から、社外取締役に求められるものを具体的に話していただき、とても参考になった。
--	---

4. 講義について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・具体事案を使って考えてみてことで、自分には多方向からの視点や背景理解が欠けていること、安易な発想しかできていないことを思い知った。経営戦略を考えていくには大いに力不足であり、もっと深く学びたいと感じた。 ・脅威と機会についてグループでディスカッションし、もし、私たちが取締役ならば、という立ち位置で物事を考え、ディスカッション出来て楽しかった。我が社に置き換えて考えてみると、この講義を受ける前と後では、異なる視点が持てたことも有意義であった。 ・取組事案は戦略ではなく手段という観点は、とても印象的であった。 ・経営戦略について平易な言葉と事例で教えて頂き、大変わかりやすかった。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の戦略について、機会と脅威は表裏一体であることを、実際の企業を例に学習することができた。 ・競争均衡を抜け出し競争優位になるために、経営者が立てる戦略が大切ということがよくわかった。 ・具体的に社外取締役になったつもりでも考える機会を与えられ、経営とはこういうことかとハッとさせられた。 ・経営判断をする際に、客観的・多角的な分析をベースに、判断の根拠をいかに積み上げていくべきか一端を知ることができた。 ・企業価値の考え方の基本を、初めて理解できた。

5. 本日の研修を受けて、今後取り組みたいこと

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・自社の事業の戦略を確認し、何か提案できることを見つけたい。 ・「言わなくてもわかってほしい」はビジネスの世界では通用しないことを肝に銘じて、説明力・発信力の向上に取り組みたい。 ・真のダイバーシティとは何かを考え、「内」に向けた仕事の仕方ではなく、「外」に向けての発信」を視野に入れて業務に取り組みたい。 ・社内での交渉力をつけるためにも、事実に基づく分析であったり、柔軟な思考を持てるよう物事にあたりたい。 ・対外的、特に外国の方々との交渉術を身につけたい。
工業等	<ul style="list-style-type: none"> ・社外取締役に求められる戦略的思考や説得力をもっと身につけたい。 ・社外取締役の職務を果たす上で、企業価値向上のために自分が具体的にどのような役割を果たすべきであるのかを検証したい。 ・外柔内剛を目指して、相手の立場にたって、相手に納得してもらえよう、交渉力を磨きたい。 ・実際の企業で行われた過去の戦略実績や新たな戦略について、ニュース等で情報入手し、自分なりにその戦略について考察してみようと思う。 ・関与先企業や自らの事業が、継続して企業価値を向上し続けるために必要な要素を常に考え、今後のコンサルティング事業に取り組んでいきたい。

フオロアアップ・神奈川

- ・開催日：2019年2月8日（金）
- ・出席者：23名
- ・講演：「女性役員への期待 パーソナルブランドの確立」
SAPジャパン株式会社 / バイスプレジデント 人事戦略担当
アキレス 美知子 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	15	65%	8	73%	7	58%
2) 良かった	8	35%	3	27%	5	42%
3) 普通						
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講演について

企業	<p>「パーソナルブランド」コンセプトの説明が、体系的かつ講師の実体験に基づいており、すぐに活用できるように思われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで、キャリアブランディングという観点で自分のことを考えたことがなかった。タグラインなど、改めて自分のことを表そうとしてもうまく浮かばなかった。まずは自分を理解しないといけないなど、新たな視点や気づきを頂いた。 ・自分が大切にしているものは忘れない、業界で5本の指に入る、自己ブランドの着目点も、非常に参考になった。チャレンジして自信を持つ、というところも強く印象に残った。多くの新しい気づき、新しい視点を頂き、さらには自分も頑張ろうと思える素晴らしい講演だった。 ・今までの研修のまとも的な位置づけで、それに相応しい内容と雰囲気だった。 ・改めて自分自身を客観的に評価し、ありたい姿に向かって自分を磨いていくという意識づけが出来た。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルブランドの確立という、今後のキャリアを考える上でも示唆に富んだ話であり、研修の最終回に相応しく、今後のアクションのモチベーションアップにもつながった。 ・役員は、協力、一致、専門性だけでは務まらず、勇気を持って意見を投じる意識が重要であると感じた。 ・女性役員の大先輩の話が聴けて励みになった。 ・講師の略歴を伺い、その後の交流会でもいろいろな話をさせて頂き、非常に刺激を受けた。交流会で直接お話し頂いた内容は、一生忘れないと思う。 ・優しい語り口でいながら、伝えることはきっちりはっきりと、言葉にしているところが大変参考になった。

3. アクションプランについて

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と違う仕事を持つ方と目標を共有できて、アドバイスを頂けたことは良かった。自分の目標を立て方が定性的だったと課題認識した。 ・グループディスカッションで、他の方が実地で取り組んでおられる事例を聞くことが出来、直接参考になる点や、勇気が湧く点が幾つもあった。
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんと共有したこと、同じような悩みがあったり、逆に知らない視点などもあった。あるグループからは、目標を明確にさせる、日にちを決めてアクションしていくべきと紹介があり、本当にその通りと共感できた。ただ聞くだけでなく、自分のこととして考える機会となつて良かった。 ・士業と企業勤務、企業勤務でも業態・規模の違いでとらえ方が異なるのが新鮮で、気づきが多かった。同じような業態の会社同士での取組もしてみたかった。 ・宣言することで、新たな誓いができた。 ・アクションプランを共有することで、他の方達の考え方や取り組み方としていて話が聞けよかった。 ・個人の目指す姿や立場、仕事内容はもちろんそれぞれに違うが、共通点や同じ悩みを抱えていることを知り、安心するとともに、問題の深さを実感することができた。最後は人間性が重要となる点も共有でき、今後の教育のあり方について刺激を受けた。 ・自分を見つめ直すこと、他の参加者の方がどのようなことを考えているのかを知ることができた。講師からのアドバイスも参考になった。 ・自分の目標を文字にして表現することが新鮮で、初心を思い出すことができ良かった。 ・成果を実感するには、時間が足りないような気がする。 ・社外役員研修として望む士業にとっては、アクションプランの作成は、少し違うような気がした。
士業等	<p>4. 本日のフオロアアップ研修、及び今回の研修全般について、気づいた点や感想など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師が入ってアクションプランを進められたことが良かった。具体的事例に頂くアドバイスも大変参考になった。ネットワークできるのも良かった。 ・グループワークや交流会がとても良かった。他の受講者（いろいろな組織、職歴、ただで頃張って動め続けていることは共通）の話や人となりから、多くの刺激を受けた。講演や講義も、これだけ著名な方々からまとまって話を聞く機会はなかなかなく、得難い経験だった。 ・講義内容や参考書籍など、まだまだ消化しきれない部分が多いが、折に触れ反芻し、またアクションプランの進捗確認とあわせ振り返りを行うことで、真のスキルとして身につけていきたいと思う。 <ul style="list-style-type: none"> ・企業勤務と士業を混在させた中でのグループ討論は、まさにダイバーシティで、良かったと思う。 ・今後も継続していかねばいけないという意識喚起、メンバーとの連絡を取り続けたいという意識を持ち合う良いきっかけになったと思う。 ・講師、分野共に多様性に富んだ研修であったと思う。一般に必要とされている知識、分野のイメージがわき、専門分野の先生方の話も重要な点がクリアにされていて、専門外の分野でも興味ももてる内容だった。 ・期待以上に充実した研修内容だった。研修を生かすことができるように、今後のキャリア構築に活かしていきたいと思う。 ・アクションプラン作成からフオロアアップまでの期間が少し短かったのが残念であった。 ・研修は終了とのことだが、アクションプランの進捗のフオロアアップ研修を行っていただければ幸いです。

フォローアップ・愛知

- ・開催日：2019年2月7日（木）
- ・出席者：27名
- ・講演：「女性役員への期待 パーソナルブランドの確立」
SAPジャパン株式会社 / バイオプレジデント 人事戦略担当
アキレス 美知子 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	18	67%	7	64%	11	69%
2) 良かった	7	26%	3	27%	4	25%
3) 普通	2	7%	1	9%	1	6%
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の最後を締めくくると内容であり、期待以上だった。 ・どのメッセージも懐おちした。また、経験談も具体的に語って頂き、説得力があった。どんな質問にも丁寧に回答、コメントくださり、素敵だと感じた。 ・メンターになって欲しいと心から思った。 ・実際ヘッドハンティングなど自分には縁がないようなものであると思ったが、変れない自分自身の問題があると気づきがあった。周りの方々の努力の仕方が分かった。大変勉強になった。 ・講師の方が、職歴だけでなく、プライベートの経歴も話してくれたので、職業が正社員一本でない私にとっては、いろいろ経験したことともキャリアのうちである。自分を肯定できた。 ・自分をブラッシュアップする視点を学んだ。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後キャリアを積んでいく上での指針となるような、心に残る話だった。 ・自己ブランディングについては考えたことがなく、新鮮だった。 ・自分で自分の価値を見つめ直すことの大切さに、改めて気づくことができた。 ・一歩踏み出すということを重ね重ねてこられた話に、胸を打たれた。自分も一歩踏み出すと勇気を頂いた。 ・女性役員としての部下との接し方や、どのように職を得る機会があるのかなど、具体的に考えるきっかけとなった。

3. アクシオンプランについて

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・他の方のアクシオンプランの記入の仕方など、とても参考になった。普段このようなものを記入する機会がないので、社内でも取り入れてみたいと思う。 ・受講者との共有で、皆さんの議論は刺激的だった。また、発表・共有の時間で、本音の議論、質問がなされ、とても有意義だった。 ・毎期作成しているの而定型的な書きぶりになってしまっただが、作成に慣れている士業の方の視点より、会社（組織）外への取組の観点に気づかされた。本研修の根本の意義に立ち返ることができた。 ・具体的な目標を書き出すことで、変革の第一歩につなぐことができた。自分の
----	---

	<p>書いたアクシオンプランを組織内で共有し、継続のきっかけにしていこう予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由な発想で、皆それぞれの思いや考えをディスカッションできていたのは、慣れて仲良くなってきた証である。素敵な人間関係は、これからも続けていけると思う。 ・さらに深堀ができるとよかった。 ・学んだことを具体的に行動に移すプログラムとして、適切であると思う。 ・アクシオンプランをベースに、グループ単位の議論が興味深かった。 ・異なる立場の多様な意見を聞くことができ、また自身の強みや足りないところを意識するきっかけとなった。 ・表現する言葉は違っても悩みは同じであり、目指す方向性も同じだと実感できた。 ・今まで自分がどうなりたいのか、それに向かって何を始めれば良いのかと具体的に考えたことがなかった。今回の経験で目標設定が明確化した。 ・改めて、なりたいたい自分について考えて、文章にする機会はこれまででなかった。自分の将来について考えることができた。反面、士業にとっては、組織の変革等について考えるのは、なかなか難しかった。 ・組織に属しているものは、組織変革ができる立場までには現在はないため、アクシオンプランを立案しにくかった。士業には、独立して業務を行われている方もいて、同じように組織に関するアクシオンプランは書きづらいという意見が多かった。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションがやはり有意義。 ・様々な分野の経験ある先生方からの講演は、気づかされることが多くあった。 ・交流会の時間も1時間しっかり確保頂き、参加者と深く話げることができた。本日含め、これまで素晴らしい先生、研修内容、進め方に心より感謝する。 ・時間を有効活用できる術を身につけているのは、男性より女性ではないか？と思うほど、スケジュール通りに盛りだくさんの内容を研修させて頂き、感謝している。会社では、時間だけ過ぎていくような会議もあるもので、フィードバックしたいと思った。女性同士のつながりも今後の女子会で広がっていきそう、参加させてもらえたことに感謝している。 ・社外取締役の就任を目指す主旨が強いように感じた。企業勤務者としては、より経営に近い立場になっていく上で、社外からみられる・要求される視点や知識を得るという意味で役に立ったと思う。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ聞いているだけでなく、やはり参加者の皆さんと話しあうことで、新たな考え方やプランが発見できるので、今回のグループでの話しあう時間を長く設定したスタイルは、有意義であったと思う。 ・自分の今後について、考え直すよい機会になって、良かったと思う。 ・講師の話がすくなく、アクシオンプランも、士業ではわからない企業役員の方の話や話を聞くことができて、今後の仕事に活かしたい。 ・今までの女性役員研修の修了者が実際に役員になった方がいらっしやるのか、どのようになったのかということも参考に聞きたかった。 ・今回の研修の集大成のような重要な回だった。今後、3か月後、半年後、1年後、という形でフォローアップ研修、あるいは、報告会があると良いと思う。 ・士業と企業では内容が異なるので、アンケートやアクシオンプランは工夫された方が良くと思う。

4. 本日のフォローアップ研修、及び今回の研修全般について、気づいた点や感想など

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションがやはり有意義。 ・様々な分野の経験ある先生方からの講演は、気づかされることが多くあった。 ・交流会の時間も1時間しっかり確保頂き、参加者と深く話げることができた。本日含め、これまで素晴らしい先生、研修内容、進め方に心より感謝する。 ・時間を有効活用できる術を身につけているのは、男性より女性ではないか？と思うほど、スケジュール通りに盛りだくさんの内容を研修させて頂き、感謝している。会社では、時間だけ過ぎていくような会議もあるもので、フィードバックしたいと思った。女性同士のつながりも今後の女子会で広がっていきそう、参加させてもらえたことに感謝している。 ・社外取締役の就任を目指す主旨が強いように感じた。企業勤務者としては、より経営に近い立場になっていく上で、社外からみられる・要求される視点や知識を得るという意味で役に立ったと思う。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ聞いているだけでなく、やはり参加者の皆さんと話しあうことで、新たな考え方やプランが発見できるので、今回のグループでの話しあう時間を長く設定したスタイルは、有意義であったと思う。 ・自分の今後について、考え直すよい機会になって、良かったと思う。 ・講師の話がすくなく、アクシオンプランも、士業ではわからない企業役員の方の話や話を聞くことができて、今後の仕事に活かしたい。 ・今までの女性役員研修の修了者が実際に役員になった方がいらっしやるのか、どのようになったのかということも参考に聞きたかった。 ・今回の研修の集大成のような重要な回だった。今後、3か月後、半年後、1年後、という形でフォローアップ研修、あるいは、報告会があると良いと思う。 ・士業と企業では内容が異なるので、アンケートやアクシオンプランは工夫された方が良くと思う。

フォローアップ・関西広域

- ・開催日：2019年2月14日(木)
- ・出席者：33名
- ・講演：「女性役員への期待 パーソナルブランドの確立」
SAPジャパン株式会社 / バイスプレジデント 人事戦略担当
アキレス 美知子 氏

1. 研修プログラム全体について

	全体		企業		士業等	
	人数	%	人数	%	人数	%
1) とても良かった	30	91%	16	94%	14	88%
2) 良かった	3	9%	1	6%	2	13%
3) 普通						
4) あまり良くなかった						
5) 良くなかった						

2. 講演について

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルブランドという新しい概念を勉強するとともに、実際社会人生活の中で利用できる内容がらりばらめられており、キャリアとライフ、どちらも大事という基本スタンスがとても共感でき、大変参考になった。 ・パーソナルブランドの言葉自体を知らなかったが、個人だけでなく会社の代表者である役員としても必要であり、確立のためのポイントを非常にわかりやすく説明頂き、理解が深まった。また全体を通じて受講者の今後の活躍を期待し、応援下さる想いが伝わってきたことで、これから頑張っていこうと強く思うことができた。 ・今後、仕事を続けていく上で、自分をどのような観点で振り返り、磨いていったらよいかを教えて頂き、大変勉強になった。 ・役員を目指す「自分」というものを、イメージするよい機会になった。 ・どんなつらいことがあっても、前に向けて進んでいくことを教えて頂いた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の最後にこのような講演を聴講できて本当に良かった。パーソナルブランドの確立という点で、7つのポイントを教えて頂いたが、これを一つ一つ自分のものにしていきたい。 ・講師の人生と、仕事上の戦略についての話がリンクしつつ、バランスも良く、わかりやすい点が良かった。 ・講師自身の経験を踏まえて、フランクに歯切れよく語ってくださり、大変わかりやすかった。明確に自分のなりたいたい姿、大切にすべきものを持ち、それに向かって進むことの大切さを教えて頂いた。 ・今後の自らのキャリアプランを考える上で、指針となる話を色々お聞き出来、とても勉強になった。自らのブランドを自らの意思で作りに上げていきたい。 ・自分を「ブランド」としてみる視点ももっていなかったのだ。「パーソナルブランド」というワードを知りただけでもよい方向に向かえそう。教えて頂いた7つのポイントは、すべて実行できると素晴らしいと思う。ポイントとしてわかりやすく絞って頂いた上で、意識して実行できるようにしたい。

3. アクシヨンプランについて

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・本研修を受講し、勉強になったことのみで終わることなく、今後の行動を変えるきっかけとなり、良かった。 ・グループ討議をしながら、皆さんの問題意識や課題を共有することができ、有意義であった。 ・皆さんの具体的な取組を聞き、参考になるとともに刺激を受けた。また、各グループからの話に対応した講師の経験談・コメントが大変勉強になった。 ・自分では思いつかない取組事例を数多く知ることができ、参考になっただけでなく、最後には、皆が共通の課題（上司の壁、信頼を得ることの困難さ）に行きつくことに気がつけた。何よりもそれらに対する講師のコメントやアドバイスをとても心に響いた。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて書いてみて、実行していく気持ちを確認できた。 ・より良い組織、より良い経営を遂行するために、リーダーとして、社外取締役として、必要な要素とは何かを多角的に検証することができた。特にディスカッションを通じて、様々な立場の女性リーダーの考え方を知ることができたのは有意義であった。 ・アクションプランを作成することで、何をどうしたいのか、どうすれば改善できるかなど、自分に問いかけ考える習慣が身についた。 ・グループでディスカッションし、悩みに対して、他の参加者や講師からアドバイスを頂き、今後のコミュニケーションの取り方などに非常に参考になった。 ・士業にとっては書きづらいものもあったが、企業の皆さんの話を聞けたのは大変興味深く、良い刺激になった。また、毎日少しずつでも勉強する時間をとっているとの話を聞き、自分も頑張ろうという気持ちになった。

4. 本日のフォローアップ研修、及び今回の研修全般について、気づいた点や感想など

企業	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の選定が素晴らしい。懇親会を2回設けて頂き、仲間づくりに役立つ。スキルは、役員に必要な内容で普段自分ではなかなか勉強できない分野であったため、役に立つことが多かった。 ・意欲を持って、肩に力を入れずに、前向きに頑張っていきたい。また、学ばせて頂いたことを、同僚や後輩の女性に伝達していきたくと思う。 ・あつという間の半年間で、とても有意義な研修であった。何よりの財産となったのは、人脈であり、士業と企業の両方の人が一緒に研修を受けるスタイルの良さが出ていたと思う。
士業等	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の方々の話を聞けて、士業にはない発想があり、とても参考になった。 ・企業からの参加者と士業からの参加者では、視点がかなり違うことに気づかされた。視野が広がったと思う。 ・毎回の講義や講演は、知的好奇心を刺激される良質なものであった。研修を通じて、目的意識や向上心が高い方々と知り合うことができ、大変有意義な研修だった。 ・優秀な受講生とのワークでも多くの気づきがあり、有意義だった。 ・アクションプランの共有があつて良かった。皆の意識の高さから刺激を受けて、やる気が出た。 ・毎回、先に集めた方々で自己プロモーションなどを行い、互いを知る時間を作って頂けたら、なお良かったように思う。